

## 愛知県支部

### 中小企業の情報セキュリティ～東海地区における中小企業の現状とその対策～

近年の情報技術革新の進展はさまざまに産業構造や企業経営のあり方に大きな変化をもたらすなど、社会にとって不可欠なインフラとなっている。一方、広く社会に浸透し、利用が増えるにしたがい、コンピュータウィルス、迷惑メール、不正アクセスなどの被害、そして企業からの情報漏洩事故など、情報セキュリティ面に関する話題が大きな関心をよんでいる。

こうした関心の高まりを背景に、企業の情報セキュリティに関するレポートは多くでていますが、そのほとんどは大企業もしくはそれに準ずる中堅企業についてのものであり、事業所数では圧倒的に多い中小企業に関する情報セキュリティの実態は、ほとんど明らかにされていないのが現状である。

そこで、中小企業における情報セキュリティの実情を明らかにし、今後のあるべきセキュリティ対策の指針を示すことを研究テーマとして採り上げた。このテーマに沿って、中小企業の情報セキュリティに関する実態をアンケート形式で調査し、回答内容の考察とそれらを踏まえたうえでの今後の指針を述べたものが本報告書の内容である。

調査実施に際しては、当初はインターネット等の手段を用いて全国的に広く実施することを考えたが、東海地方を中心に活動する我々は、特に当地区の実態を知りたい、という希望が根底にあった。そのため、あえて東海地方の中小企業を対象を絞って、情報セキュリティの実態を把握することとした。

報告書の概要は以下のとおりである。

#### 第1章 調査実施概要

今回実施した情報セキュリティ調査(アンケート)の実施手順についての簡単な説明である。

#### 第2章 アンケート結果の考察

##### 1. 情報セキュリティに対する現状認識

中小企業のセキュリティに対する意識や考え方を調べた

##### 2. 被害の実態

実際の被害の割合や状況などを調べた

##### 3. 制度的対策の状況

主に組織や人事の観点からの対策状況を調べた

##### 4. 物理的対策の状況

主に事業所のレイアウトや構造など外的不可抗力に対する対策状況を調べた

##### 5. 技術的対策の状況

情報機器などのシステム的な対策状況を調べた

## 6. 今後の取り組みに対する意識

現状はともかく、今後の取り組み姿勢を調べた

## 7. 取り組みにあたっての課題

情報セキュリティ対策を推進するうえで中小企業が直面する課題を調べた

### 第3章 あるべき中小企業のセキュリティ対策

アンケートの調査結果を踏まえて、中小企業が最低限取るべき対策を1.制度的、2.物理的、3.技術的の観点から述べた。さらに、マネジメントとして全社的に取り組んでいくべきポイントを5.に述べた。

### 第4章 セキュリティ対策チェックリスト

中小企業が最低限押さえておくべきセキュリティ対策の項目を、チェックリストの形でまとめた。

今回の研究を通じて判明したことは、

- (1) 多くの中小企業では情報セキュリティに関する対応が遅れており、コンピュータウィルス被害などが発生している。
- (2) 経営規模の小さな企業ほど、情報セキュリティに関する情報やノウハウが乏しく進め方が分からず手をこまねいている。
- (3) 情報セキュリティ対策を進める上での主な障害は、人材面と金銭面そして経営者の理解をあげている。特に、経営者の理解は非常に重要であり、経営者の意識改革が求められている。

本研究により、中小企業、特に経営規模の比較的小さな事業所における情報セキュリティの実態を明らかにし、今後のあるべき対策の方向性を多少なりとも示すことができたのではないかと考えている。